

市民交流プラザ開設準備室



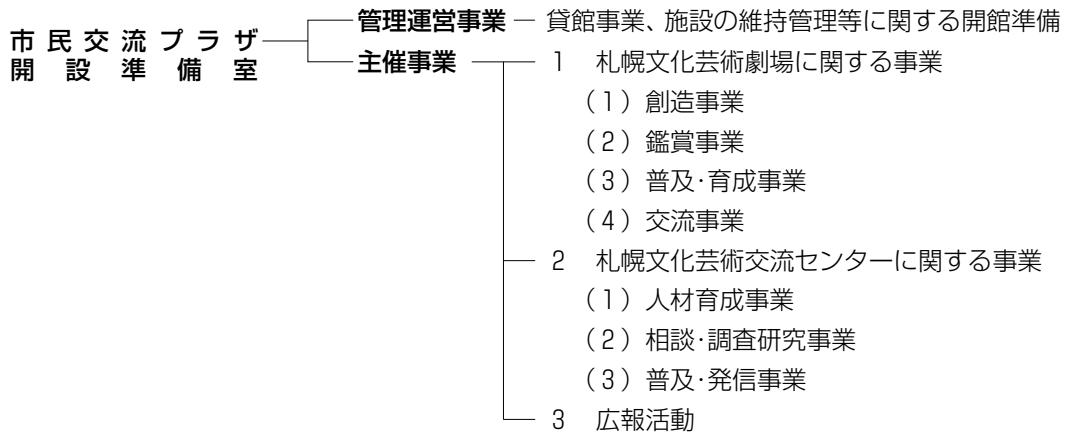
札幌市民交流プラザ キックオフイベント
おんがくしつトリオとはじめての編曲～得意な楽器で演奏してみよう～
平成28年 8月14日（日）

市民交流プラザ開設準備室

事業体系

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次により行った。

事業体系



管理運営事業

平成30年に開館を予定している札幌市民交流プラザ（札幌文化芸術劇場・札幌文化芸術交流センター）の管理運営に関する準備を行った。

貸館受付の申込方法等を検討し、平成28年10月から優先受付を開始した。

開館後の施設設備等の維持管理に関する業務について準備を行った。

主催事業

札幌文化芸術劇場に関する事業

道内初の多面舞台を備えたホールの機能を活用し、国内外トップレベルの舞台芸術を発信する劇場を目指し、こけら落とし公演をはじめとする平成30年10月開館以降の事業等を計画した。

札幌文化芸術交流センターに関する事業

①人材育成事業

札幌の様々な文化芸術資産を支え、市民や地域社会とつなげる役割を担う人材を育成するためにアートマネジメント人材育成講座やアートボランティア向けのシンポジウムを行った。

①アートマネジメント人材育成講座 新規 アートを介した市民参加のデザイン

東京都美術館のアート・コミュニケーション事業の担当者を講師に招き、東京都美術館の事例紹介やワークショップなどを通じて、市民のボランタリーな活動をマネジメントする視点を学ぶ2日間の講座を行った。「アートボランティアのためのシンポジウム」と同時開催。



期日：平成28年10月30日（日） 12:30～18:00

平成28年10月31日（月） 9:00～12:30

会場：札幌市教育文化会館 研修室302ほか

主催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

講師：稲庭彩和子（東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長／学芸員）、伊藤達矢（東京藝術大学美術学部特任准教授）

後援：札幌市、北海道、公益財団法人北海道文化財団

対象：文化施設職員、行政職員、アートマネジメント

に興味のある学生など

受講料：一般1,000円、学生無料

入場者数：34人（1日目19人、2日目15人）

②アートボランティアのためのシンポジウム 新規 札幌におけるアートコミュニケーターの可能性

文化政策に関する基調講演や東京都美術館で実施されているアート・コミュニケーターに関する基調報告の第1部と第1部で提起された内容を基にした第2部のパネルディスカッションを通じて、「札幌におけるアートコミュニケーターの可能性」について考えるシンポジウムを行った。



期日：平成28年10月30日（日） 13:30～15:40

会場：札幌市教育文化会館 研修室305

主催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

後援：札幌市、北海道

出演：片山泰輔（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科長）、稲庭彩和子（東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長／学芸員）、伊藤達矢（東京藝術大学美術学部特任准教授）、山田修市（市民交流プラザ開設準備室文化芸術交流センター事業課長）、北村清彦（北海道大学大学院教授）

入場料：無料

入場者数：76人

市民交流プラザ開設準備室

主催事業

2 相談・調査研究事業

文化芸術交流センター内に相談窓口を設けアーティスト等が文化芸術活動を行う上で直面する課題に対して支援することを目指し、国内の先進的な取組等の情報についての収集や委託調査等を実施した。併せて国内の文化政策の分析や相談・活動支援事業に関する調査研究を通して、札幌の文化芸術活動を振興していくための基盤準備を行った。

①各種調査

市内アーティストや文化団体、市民における文化芸術活動の場や助成金情報についてのニーズの把握、国内の先進的な取組等の情報について収集することを目的として委託調査等を実施した。また、全国の文化施設にヒアリングを行った。

②アーカイブ

イベントとして位置付ける平成28年度事業を記録し、保存することを目的として、実施報告という形で記事と写真をホームページに掲載する準備を行った。

3 普及・発信事業

①札幌市民交流プラザキックオフイベント 新規

札幌市民交流プラザの施設・事業PRを目的に札幌コンサートホールにて、コンサートやワークショップ等を実施した。



期 日：平成28年8月14日（日） 10:00～17:00

会 場：札幌コンサートホール

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

共 催：札幌コンサートホール（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

協 力：札幌芸術の森クラフト工房（札幌市芸術文化

財団）

総入場者数：803人

【小ホール】札幌文化芸術劇場プレコンサート

～札響メンバーによる珠玉のオペラ・バレエ名曲集～

出 演：大平まゆみ、織田美貴子、青木晃一、坪田亮

入場料金：一般1,500円 高校生以下500円

入場者数：396人

【大リハーサル室】おんがくしつトリオとはじめての編曲

～得意な楽器で演奏してみよう～

出 演：おんがくしつトリオ

参加費：500円

参加人数：4人

【エントランス】芸術の森がやってきた！クラフトワークショップ

内 容：①寄木のストラップづくり、②裂き織りコードづくり、③缶バッヂづくり

参加費：①600円、②500円、③300円

参加人数：計36人（①9人、②14人、③13人）

【中庭等】Classic×Classic

出 演：ピエロのスイッチ、レストラン演奏団、おんがくしつトリオ

入場料金：無料

人 数：のべ367人

新規

②まちなかコンサート～東区～ 札幌×函館

札幌文化芸術交流センターの施設及び事業PRを目的として、市内10区でイベントを行うシリーズの第1弾。札幌丘珠空港で定例的に実施されているロビーコンサートに企画提供する形で実施した。出演者には、平成27年度札幌市民芸術祭新人音楽会奨励賞受賞者や平成26年度函館新人演奏会芸術奨励賞受賞者を起用し、若手音楽家の交流及び発表の場の創出を行った。演奏は会場が空港であることちなみに、飛行機や空港と関連する曲目を中心に構成した。



期 日：平成28年11月27日（日） 12:30～13:45

会 場：札幌丘珠空港 札幌いま・むかし探検広場

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）、札幌丘珠空港（札幌丘珠空港ビル株式会社）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

協 力：公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

出 演：長内一真（ピアノ）、関口さくら（フルート）、池田茜（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：200人

（2）まちなかコンサート～西区～ 新規

西区文化フェスタ2017 市民交流プラザpresents
宮沢賢治が聴いた世界

札幌にゆかりのある宮沢賢治を取り上げ、宮沢賢治が愛したクラシックの音色をチェロとオーケストラの演奏で市民に楽しんでいただくイベントを行った。その他、宮沢賢治の著作の朗読を実施した。出演は札幌交響楽団首席チェロ奏者の石川祐支氏、市内在住ピアノ奏者大平由美子氏、西区を拠点に活動するアマチュアオーケストラの札幌西区オーケストラ。朗読は石井雅子氏。



期 日：平成29年2月5日（日） 14:30～16:30

会 場：札幌市生涯学習センター ちえりあホール

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）、西区文化フェスタ実行委員会／西区役所

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

出 演：石川祐支（チェロ）、大平由美子（ピアノ）、札幌西区オーケストラ（管弦楽）、石井雅子（朗読・司会）

入場料：無料 事前応募制

入場者数：405人

（3）まちなかコンサート～厚別区～ 新規

音楽と科学のコラボレーションを通じて、子どもたちに文化芸術や科学の楽しみを伝えるコンサートを実施した。プログラムは乳幼児から聞くことの出来る「ゆりかごコンサート」と、小学生を主な対象とした実験付き

のコンサートである「オンガク×カガク」の2部構成。

今回は管楽器（フルート）に注目し、管の長さによって音の高低が変わる楽器の仕組みを出演者の実演を交えて紹介した。

出演は市内のフルート愛好家団体の札幌フルート協会会員6名。



期 日：平成29年3月19日（日）

11:00～11:30、13:15～14:15

会 場：札幌市青少年科学館2階特別展示室

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）、札幌市青少年科学館（札幌市生涯学習振興財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

出 演：松沢幸司、大島さゆり、佐藤麻衣、浅井良子、末次直子、濱川まどか

入場料：無料

入場者数：323人

③アートステーションin○○ 新規

（1）アートステーションin国際ホール

新幹線と食から考える 旅とアートの楽しみ

市民とアーティストら文化関係者との交流を目的としたトークイベントを行うシリーズの第1弾。平成28年3月26日に開業した北海道新幹線のデザインや、世界最速の美術館として話題のJR東日本の現美新幹線、北海道の魅力の一つである「食」を題材に、アートと観光の関係性について多彩なゲストとともに考えるトークイベントを開催した。

期 日：平成28年10月8日（土） 14:00～16:00

会 場：国際ホール（札幌国際ビル）

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

出 演：鬼頭知彰（北海道旅客鉄道株式会社）、田中壮一（東日本旅客鉄道株式会社）、鈴井亜由美（株式会社クリエイティブオフィスキュー）、

市民交流プラザ開設準備室

主催事業

中田美知子（札幌大学）

入場料：無料

入場者数：91人

（2）アートステーションinインナーガーデン **新規** ～カホンの魅力に迫る！～

昨今、演奏会やメディアなどで取り上げられる機会の多い、打楽器カホンについて解説と演奏を通じて、市民に魅力を伝える内容のイベントを行った。出演者には音楽教室講師としても活動するパーカッショニストの大山賢司氏を起用。また、ビデオ出演にてカホン制作家の三浦伸一氏からカホン制作の魅力についてお話をいたいた。



期 日：平成28年12月18日（日） 13:30～14:45

会 場：紀伊国屋書店札幌本店 1階 インナーガーデン

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

出 演：大山賢司（カホン）、酒井由紀子（ピアノ）

入場料：無料

入場者数：174人

共 催：札幌芸術の森美術館（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

出 演：柿崎熙（現代美術家）、佐藤弥生（札幌芸術の森美術館学芸員）

入場料：無料

入場者数：91人

④こどものためのワークショップを考える 2 DAYS **新規** 【meeting～こどもワークショップを考える～】

次世代の文化芸術を担う子どもたちのために、どのようなワークショップを行うことが求められているのか、ゲストによる事例発表とパネルディスカッションを通して考えるシンポジウムを行った。



期 日：平成29年1月28日（土） 14:00～16:00

会 場：わくわくホリデーホール 第1会議室

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道、北海道教育委員会

講 師：大月ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー）、篠田信子（富良野メセナ協会）、山田修市（市民交流プラザ開設準備室文化芸術交流センター事業課長）

入場料：無料

入場者数：46人

（3）アートステーションin道新プラザDO-BOX **新規** 作品と私—森にいざなわれて

札幌芸術の森美術館で開催される「札幌美術展 柿崎熙展」の開催に関連し、出展作家である柿崎熙氏をゲストに呼び、展覧会の見どころや作品の創作秘話などを札幌芸術の森美術館学芸員との対談形式で紹介した。

期 日：平成29年2月18日（土） 13:00～14:00

会 場：道新プラザDO-BOX

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

【trial～まちの廃材でアート工作体験＆ちらし彫刻～】

札幌のまちから生まれる廃材や端材を、子どもたちの自由な発想で組み合わせて工作を行うワークショップと、展覧会やコンサートなどのちらしを利用したワークショップを実施した。



期 日：平成29年1月29日（日） 11:00～15:00

会 場：紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン
(廃材工作体験)

紀伊國屋書店札幌本店2階イベントスペース
(ちらし彫刻、微分帖)

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道、北海道教育委員会

講 師：大月ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー）、宮田篤（美術家）

入場料：無料

入場者数：61人（廃材工作体験）、28人（ちらし彫刻、微分帖）、200人（見学者）

【市民交流プラザPRパネル展】

札幌市民交流プラザの施設概要についての周知を行うパネル展示を行った。

期 日：平成29年1月28日（土）～2月2日（木）
10:00～19:00

会 場：紀伊國屋書店札幌本店2階イベントスペース

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）

後 援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道

入場料：無料

入場者数：236人

広 報 活 動

①ホームページによる広報

施設の概要等を掲載したホームページを開設し、施設の完成に向けて市民の関心を膨らませるため、建設工事の進捗状況やプレイベントの最新情報等を掲載した。併せて、FacebookやTwitterも活用して情報を発信した。また、施設の魅力をわかりやすく効果的に伝えるため広報映像を作成し、ホームページで公開するとともに、プレイベント等で活用した。

平成28年度ホームページアクセス数：23,383件

②施設利用に関する冊子の発行

優先受付の開始に合わせて、施設の特徴や貸館手続きなどをわかりやすく記載した冊子を作成し配布した。また、施設の概要を紹介するパンフレットを作成し、区役所、区民センター等の公共施設への配架や、プレイベント等で配布するなど、施設のPRを行った。

③マスコミ等による各種情報の提供

新聞や雑誌、地下鉄駅構内の電照広告などを活用し、施設及び主催事業についてPRした。

(1) 新聞広告

北海道新聞：3月24日（金） 全面広告にて掲載

日本経済新聞：3月25日（土） 全5段にて掲載

読売新聞：3月26日（日） 全5段にて掲載

朝日新聞：3月26日（日） 全5段にて掲載

毎日新聞：3月26日（日） 全5段にて掲載

(2) 雑誌広告

クラシック音楽情報誌「ぶらあぼ」4月号に記事広告を掲載

(3) 地下鉄駅広告

電照広告：大通駅3か所、西11丁目駅1か所、さっぽろ駅1か所に設置

構内広告：3月20日（月）～26日（日）大通駅大型壁面広告（Xシリーズ）、デジタルサイネージ（SAPPORO SNOW VISION）、円柱広告（アドピラー）、3月22日（水）～28日（火）ホーム柵ステッカーの各媒体に広告を掲載

市民交流プラザ開設準備室

主催事業

④平田オリザ講演会と文化シンポジウム 新規 「新しい広場をつくろう～札幌市民交流プラザ開設に向けて～」

札幌市民交流プラザの施設周知や開設準備段階における市民参加を促進する事業として、ACF札幌芸術・文化フォーラム（市民ボランティア、アーティスト、文化関係者、学術関係者などの有志により組織される市民団体）との共催で開催した。

第1部では平田オリザ氏が、札幌市民交流プラザに求める役割や地域にもたらす可能性について講演を行った。第2部では平田氏ほか、市内で活動する文化芸術関係者、そして市民交流プラザ開設準備室の伊藤部長及び山田課長をパネリストとして、「札幌市民交流プラザを市民が活用していくために」と題したシンポジウムを実施。

期 日：平成28年12月3日（土） 13:00～16:30

会 場：北海道立近代美術館 講堂

主 催：市民交流プラザ開設準備室（札幌市芸術文化財団）、ACF札幌芸術・文化フォーラム

後 援：札幌市、V-net

出 演：第一部 平田オリザ（劇作家、演出家）

第二部 平田オリザ、宏瀬賢二（北海道ダンスプロジェクト会長）、漆崇博（AISプランニング代表）、伊藤久幸（市民交流プラザ開設準備室舞台技術担当部長）、山田修市（市民交流プラザ開設準備室文化芸術交流センター事業課長）、中島洋（シーターキノ代表）

入場者数：120人